

平成26年東京都内建設工事死亡災害事例

建設業労働災害防止協会東京支部

| No. | 月 | 業種 | 職種 | 年齢 | 経験 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|-----|----|---------|------------|------|----------------|---|-------|-----------------|
| 1 | 1月 | その他の建設業 | 作業員・技能者 | 60歳代 | 10年以上 15年未満 | 被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。 | 飛来、落下 | その他の装置、設備 |
| 2 | 1月 | その他の建設業 | 作業員・技能者 | 20歳代 | 5年以上 10年未満 | 被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。 | 飛来、落下 | その他の装置、設備 |
| 3 | 1月 | 建築工事業 | 防水工 | 60歳代 | 40年以上 | 倉庫の足場3層目の高さに位置するスレートひさし上でシーリングの打設を行っていた被災者が、工具を1階に取りに戻り再度スレートひさし上の作業場所に戻ろうとした際、スレートひさしを踏み抜き、5.5m下に墜落した。 | 墜落、転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 4 | 2月 | 建築工事業 | 現場職員 | 40歳代 | 20年以上 25年未満 | スレート屋根葺き建物の漏水調査のため、屋根上にあがり、スレート板上を歩行していたところ、スレート板を踏み抜き、約6m下へ墜落した。 | 墜落、転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 5 | 2月 | 建築工事業 | とび工 | 50歳代 | 1年以上 5年未満 | 被災者は、外部足場の解体作業において、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。 | 墜落、転落 | 足場 |
| 6 | 2月 | 建築工事業 | 営業・販売関連事務員 | 30歳代 | 1年未満 | 営業職である被災者が、出張先の建物屋上から転落死した。直近2か月間に長時間労働の実績があり、これが原因とする自殺である。 | その他 | 起因物なし |
| 7 | 3月 | 土木工事業 | 土工 | 40歳代 | 10年以上 15年未満 | 坑内にてL型擁壁の設置作業で、位置、高さのレベル最終調整を行うためバールでL型擁壁を持ち上げ、擁壁とスペーサーのすき間にライナーを挿入していたところ、L型擁壁が倒れ、作業員1名が挟まれた。 | 崩壊、倒壊 | 建築物、構築物 |
| 8 | 3月 | 建築工事業 | 大工 | 50歳代 | 10年以上 15年未満 | 小学校改築工事において、3階に仮置きした壁型材料をクレーンで吊り上げ、4階外壁に建て込もうとしたところ、4階に仮置きした壁型枠材に接触して、4階に仮置きした壁型枠材が落下した。落下した壁型枠材が約3m下の足場上で作業していた被災者に接触して、壁型枠材とともに約4m下に墜落した。 | 飛来、落下 | その他仮設物、建築物、構築物等 |
| 9 | 3月 | 土木工事業 | 技術者 | 60歳代 | 40年以上 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。 | おぼれ | 階段、さん橋 |
| 10 | 3月 | 土木工事業 | 管理者 | 40歳代 | 10年以上 15年未満 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。 | おぼれ | 階段、さん橋 |
| 11 | 3月 | 土木工事業 | 作業員・技能者 | 60歳代 | 40年以上 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。 | おぼれ | 階段、さん橋 |
| 12 | 3月 | 土木工事業 | 作業員・技能者 | 30歳代 | 1年以上 5年未満 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。 | おぼれ | 階段、さん橋 |
| 13 | 3月 | 土木工事業 | 作業員・技能者 | 60歳代 | 40年以上 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。 | おぼれ | 建築物、構築物 |

| No. | 月 | 業種 | 職種 | 年齢 | 経験 | 発 生 状 況 | 事故の型 | 起 因 物 |
|-----|----|-------|-------------|------|----------------|---|---------------------|-------------|
| 14 | 3月 | 土木工事業 | 管理者 | 30歳代 | 10年以上 15年未満 | 港湾係留施設築造工事の現場において、中央栈橋を台船から引き出す作業中に中央栈橋が転覆したものの。 | おぼれ | 建築物、構築物 |
| 15 | 4月 | 土木工事業 | 土工 | 60歳代 | 1年以上 5年未満 | 宅地の造成工事において、パワー・ショベルを運転する被災者が未整地の場所を走行していたところ、パワー・ショベルが転倒した。被災者はパワー・ショベルの運転席から投げ出され、頭部、頸部および骨盤を骨折した。 | 転倒 | 掘削用機械 |
| 16 | 5月 | 建築工事業 | その他の 作業員 | 40歳代 | 10年以上 15年未満 | 被災者は建築工事現場内6階において高所作業車を使用し、上部の鉄骨貫通部にロックウールを詰める作業を単独で行っていたところ、被災者が高所作業車の手すり部分と躯体鉄骨に挟まれて死亡した。 | はさまれ、 巻き込まれ | 高所作業車 |
| 17 | 5月 | 土木工事業 | 鉄筋工 | 30歳代 | 10年以上 15年未満 | 潜函工法によるシールドマシン発進立坑築造工事において、鉄骨鉄筋コンクリート製の函（以下、躯体）の配筋作業中、躯体鉄骨から張り出された鋼製の山形鋼（以下、アングル）による配筋用足場兼鉄筋仮置き架台に鉄筋を載せ、さらに当該足場部分に作業員3名が乗って作業していたところ、アングルが変形し、積載鉄筋が落下して、架台の下で作業中の被災者がその下敷になり死亡した。架台上の労働者も墜落し負傷した。 | 飛来、落下 | 金属材料 |
| 18 | 5月 | 建築工事業 | とび工 | 60歳代 | 30年以上 35年未満 | 住宅の屋根吹き替え工事現場で、外部足場の落下防止シートを設置していた被災者が墜落し、死亡した。被災者は保護帽と安全帯を着用していたが、保護帽は被災時に破損していた。 | 墜落、転落 | 足場 |
| 19 | 6月 | 建築工事業 | 電工 | 20歳代 | 1年以上 5年未満 | 線路上で吊架線の新設作業中、吊架線が既設の柱から外れてしまい高架下に垂れ下がった。被災者らは当該吊架線を引き上げる作業を行っていたところ、高架下の道路を走行中のトラックに垂れ下がった吊架線が引っ掛かり、当該トラックが吊架線を引きずって走行したため、吊架線を手で保持していた被災者が衝撃により高架橋の手すりを越えて約6.6m下の側道に墜落し死亡した。 | 墜落、転落 | 送配電線等 |
| 20 | 7月 | 建築工事業 | とび工 | 20歳代 | 5年以上 10年未満 | 被災者含む2名の作業員で、建物の屋上端部からステージ足場上に建枠をロープで降ろす作業を行っていたところ、被災者が墜落した。 | 墜落、転落 | 建築物、構築物 |
| 21 | 8月 | 建築工事業 | とび工 | 30歳代 | 10年以上 15年未満 | 新築工事現場で、移動式クレーンを用いて足場の解体作業中、被災者が、枠組足場第8層にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面まで14.2mの高さから墜落した。 | 墜落、転落 | 足場 |
| 22 | 8月 | 建築工事業 | 解体工 | 50歳代 | 1年未満 | 被災者は木造家屋解体工事の現場で内装解体や歩行者誘導等の業務に従事した後、同僚の運転で現場を出てしばらくすると、同僚が被災者の様態の異変に気が付き、病院に搬送されたが死亡した。 | 高温・低温 の物との接 触 | 高温・低温 環境 |
| 23 | 9月 | 建築工事業 | 内装工 | 50歳代 | 30年以上 35年未満 | 鉄製の耐震補強材パネル（高さ206cm、重さ1.3t）の搬入作業を行っていたところ、搬入口に段差があったため仮設スロープを作り、1名がチェーンブロックを用いて斜め方向に引き、3名でパネルを支え、台車の方向を調整しながらスロープ上を移動させていたところ、パネルが転倒し1名が下敷きになり死亡した。 | 激突され | 金属材料 |
| 24 | 8月 | 土木工事業 | 配管工 | 30歳代 | 20年以上 25年未満 | 工事現場に隣接する住宅の玄関先で養生作業を行っていた職長である配管工が、旋回したドラッグショベルの旋回体（右側後方部分）と付近にあった電柱との間に挟まれ、死亡した。 | はさまれ、 巻き込まれ | 掘削用機械 |

| No. | 月 | 業種 | 職種 | 年齢 | 経験 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|-----|-----|-------|------------|------|----------------|---|----------|----------------|
| 25 | 8月 | 建築工事業 | 鉄筋工 | 20歳代 | 1年未満 | マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4m）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷となり、うち2名が死亡した。 | 崩壊、倒壊 | 金属材料 |
| 26 | 8月 | 建築工事業 | 鉄筋工 | 30歳代 | 5年以上 10年未満 | マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4m）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷となり、うち2名が死亡した。 | 崩壊、倒壊 | 金属材料 |
| 27 | 8月 | 建築工事業 | とび工 | 20歳代 | 1年以上 5年未満 | 被災者は、地上約12.1mの荷受け用足場の7段目でプレースを取付中に、当該足場上で他の作業者とすれ違うため、被災者が身体を躯体外側に引いたところ、プレースが片側しか止まっていなかったため、プレースが外側にはね出しその隙間から1階の土間上に墜落した。 | 墜落、転落 | 足場 |
| 28 | 9月 | 建築工事業 | 解体工 | 40歳代 | 10年以上 15年未満 | 金属加工工場解体工事現場で建物のスレート屋根解体作業中、スレート屋根上を移動していた3次下請業者所属の被災者がスレートを踏み抜き、コンクリート床面まで約8m墜落して死亡した。 | 墜落、転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 29 | 10月 | 土木工事業 | 土工 | 60歳代 | 10年以上 15年未満 | 宅地造成工事現場で、トラックの荷台から敷鉄板を地上に下ろすため、ドラグショベルを使用して敷鉄板を吊り上げようとしたところ、鋼棒がバケットから外れ、敷鉄板がトラックの荷台から滑り落ち、トラック側方の側溝で作業していた被災者が当該敷鉄板の下敷きとなった。 | 飛来、落下 | 玉掛用具 |
| 30 | 10月 | 建築工事業 | 鉄骨工 | 60歳代 | 30年以上 35年未満 | 倉庫3階の増築工事で、被災者が躯体外階段の本設手すり枠を取り付ける作業を中断し、休憩を取ろうと当該階段を降りていたところ、高さ約8mの踊り場から地上まで墜落し死亡した。 | 墜落、転落 | 階段、さん橋 |
| 31 | 10月 | 建築工事業 | 車両系建設機械運転者 | 60歳代 | 1年未満 | 被災者は解体用ブレーカーを用いて鉄筋コンクリート造の建物解体を行っていたところ、解体用ブレーカーが転倒し、解体用ブレーカーと地面との間に被災者がはさまれた。 | 転倒 | 解体用機械 |
| 32 | 10月 | 建築工事業 | とび工 | 20歳代 | 5年以上 10年未満 | 12階建てマンションの外壁改修工事現場で足場の解体作業を行っていた労働者が足場6層目より建物2階の底に墜落した。 | 墜落、転落 | 足場 |
| 33 | 10月 | 土木工事業 | 貨物自動車運転者 | 50歳代 | 30年以上 35年未満 | 土砂をダンプトラックで砂置場まで運搬する作業中、砂置場で土砂を降ろした後、現場に戻る際、ダンプトラックが法面に衝突炎上した。 | 交通事故（道路） | トラック |
| 34 | 10月 | 建築工事業 | 大工 | 60歳代 | 15年以上 20年未満 | 工場建屋屋根張替え工事現場で、屋根上で屋根材の張替え作業を行っていた労働者が、屋根の下地材である毛木板を踏み抜き、12m下の建屋内床に墜落し、死亡した。 | 墜落、転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 |
| 35 | 11月 | 建築工事業 | とび工 | 60歳代 | 30年以上 35年未満 | 2Fエレベーターホールに設置した立ちウマに乗って、エレベーターシャフト側に手すり単管を取り付けていた際、被災者が取り付けた手すりに片足を載せて体重をかけ、安全帯フックをかけ直そうとしていたところ、手すりが脱落し、その反動でシャフト内に約6m墜落した。安全帯は2丁がけであり、うち1丁は手すりにかけていたが、手すりの脱落とともに外れた。 | 墜落、転落 | 開口部 |

| No. | 月 | 業種 | 職種 | 年齢 | 経歴 | 発生状況 | 事故の型 | 起因物 |
|-----|-----|-------|-----|------|----------------|--|-------|---------|
| 36 | 11月 | 土木工事業 | 電工 | 40歳代 | 20年以上 25年未満 | 水道管の水漏れ箇所の確認等のため約3mの深さまで掘削後、被災者が掘削箇所に入り確認作業を行っていたところ、土砂が崩れ生き埋めになった。 | 崩壊、倒壊 | 地山、岩石 |
| 37 | 12月 | 建築工事業 | 解体工 | 20歳代 | 1年以上 5年未満 | R C造5階建てビルの解体作業中、4階の床部で高さ約3m、幅約2.5m、厚み約20cmの躯体の壁倒しを行うため、ハンドブレーカーを使用して壁の下部のはつり作業を行っていたところ、壁が内側に倒れ被災者が倒れた壁と4階の床部分との間に挟まれた。 | 崩壊、倒壊 | 建築物、構造物 |